## 2019年5月12日(日) 山陽新聞 [ちまた]

どもは一人の人格ある存 どもの権利条約の理念に る第一の根拠であり、社 あることこそ権利が生じ 利に対して義務を問う人 行使する主体である。権 性が訴えられていた。子 沿って子どもを育む必要 5日付朝刊社説では、子 る責任がある。 在で、さまざまな権利を 会には子どもの権利を守 たちがいるが、子どもで こどもの日である5月

## 新 聞

しかし、例えば子ども

や若年層の自殺の多さ

が、

直島克樹 川崎医療福祉大講師

どもの貧困や虐待などは

労したが努力して乗り

さて、上記も含め、

を困難にしている一つ 権利問題であるが、支援

あなたも乗り越える努

越えてきたのだから、

史があり、培われてき

単に政治的な側面だけ としても考えるとき、

人には生きてきた歴

た価値観がある。

しか

でなく、

自分自身、

し、その価値は絶対的

して地域そのものの問

続した問題提起を期待し

ある人たちから聞くこ

とが多いとも感じてい

らなければならないだ びつく場合があると知

と考えなければならな

価値や文化の問題

問題の背景としてある

自分はこれだけ苦

ろう。

力をすべきだと考え、

うか。

山陽新聞では、

開けるのではないだろ 題であるという視野が

貧困などの福祉的問題

ある。努力が必要ない そうしない人を批判な などと言いたいわけで いし排除する傾向が () 対して良いとは限らな ったからといって人に ではなく、自分が良か 自覚なく無意識に

ている人や比較的学歴が であるといった声を聞く とは避けるべきだ、甘え 責任論であると考えてい 任に支配された価値観が のは珍しくなく、自己責 広く浸透していると感じ それは社会的に成功し 何かに支えられるこ 自立にまつわる自己 あり、そのことへの理 はない。ただ、努力を 基盤が求められるので するにはそれなりの 制される努力が、 解が求められる。 め、孤立や心身状態を 壊していくことに結 子どもたちを追い詰 ればならないという強 も頼らず頑張らなけ 逆に 誰に うと、排除の溝を深め をさらに追い込んでし 提としている価値観が 能に加え、私たちが前 ては、社会の構造と機 まうことにもなる。 難を抱えた子どもたち 考えている。これは困 てしまうこともあると 価値を押し付けてしま 子どもの困難におい を孕むのか、 がいかに価値的な側 報道を期待したい。 にとって望ましい社会 事例も含めて、 の視野を広げていく す。 日曜日に掲載 んで」は月2回、 山陽新聞を読 海外での 面

問題

(3月17日付朝刊、

子どもたちの権利が侵害 4月24日付朝刊)などは、

望ましい社会では

ざるをえない。

山陽新聞においては、 ないことを示している。 月24日付朝刊)、保育所

ェルターの運営困難

3

付朝刊社説)、子どもシ

(3月22日付朝刊、

、 24 日